

第73回全国高校スケート・アイスホッケー競技選手権（スケートインターハイ）は21日、八戸市と南部町でアイスホッケー2回戦、岐阜県でスピード男女4種目、茨城県でフィギュア女子決勝フリーを行った。アイスホッケーは八戸工が1-8で苫小牧中央（北海道）に、八工大一は0-8で武修館（同）、八戸・八学光星は0-34で白樺学園（同）に敗れ

第73回 全国高校スケート

て8強入りを逃し、県勢は姿を消した。スピードは男子の八戸西が団体追い抜きで9位、2000リレーで10位と入賞はならなかった。フィギュア女子の聖前瑛乃華（八工大一）は12位だった。スピードとフィギュアは同日で閉幕。22日は八戸市の2会場でアイスホッケー準々決勝、準決勝の計6試合を行う。
(本紙取材班)

県勢8強入り逃す 八工反則で消耗、力尽きる

アイスホッケー
スケールアイスハット八戸ほか



八戸・光星完敗 34失点

▽2回戦
白樺学園(34)対八戸・八学光星(0) 学光星0-34
▽得点者(白)村井2、香田5、菅原4、中村4、小笠4、村夫5、平子2、大友2、下山2、阿部、小笠、飯島、豊本
【評】八戸・八学光星は白樺学園(北海道)に攻守で圧倒され、終始防戦一方の展開となった。第1ピリオド4分54秒、キルプレー(数的不利)で先制を許すと、その後も立て続けに失点。相手の猛攻をしのげず、試合を通じて34失点を喫した。シュート数は相手の125本に対し、わずか1本だった。インターハイで1勝できた、仲間感謝したい」と大会を振り返る。部員不足が深刻な八

戸は、3年の主将FW樋口とGK橋本の2人だけ、来年度新入部員がなければ休部も危ぶまれる。橋本は「数が少なくて、合同チームで全国大会に出られる。一度休部になっても、歴史ある八高ホッケー部は続いてほしい」と願った。